

## 【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年1月5日	
明治大学の所属学部・研究科	国際日本学部国際日本学科	
留学（渡航）した時の学年	4年生	
帰国年月日	2022年12月29日	
明治大学卒業予定年月	2023年3月	
<b>留学先大学について</b>		
留学先国	アメリカ	
留学先大学	オレゴン大学（日本語名） University of Oregon（現地言語名）	
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語	
留学期間	2022年9月～2022年12月	
留学先大学で在籍した学年	4年生	
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している（以下に学部等名を記入） ※学部等名（日本語）：企画・公共政策・マネジメント学部 （現地言語での名称）：School of Planning, Public Policy and Management  <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他：	
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他：	
学年暦 記入例：1学期/4月上旬～7月下旬、 2学期/9月中旬～2月上旬	1学期：9月～12月 3学期：4月～6月	2学期：1月～3月 4学期：
学生数	23,202	
創立年	1876	

留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (米ドル)	日本円	備考
授業料	約 10,000	約 1,300,000 円	
宿舍費	約 4,500	約 585,000 円	
食費		円	食費は寮費に含まれる
図書費		円	
学用品費		円	
携帯・インターネット費		円	ソフトバンクのアメリカ放題
現地交通費		円	( <input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費		円	
被服費		円	
医療費		円	
保険費	約 322	41,800 円	形態：大学指定の保険
渡航旅費	約 1540	約 200,000 円	
ビザ申請費	約 310	約 40,000 円	
雑費		円	
その他		円	
その他		円	
合計	約 17,000	約 2,200,000 円	

渡航関連	
<b>渡航経路</b>	
往路 出発地：成田空港 目的地：ユージーン 経由地：ロサンゼルス	
復路 出発地：ユージーン 目的地：羽田空港 経由地：サンフランシスコ	
<b>渡航費用</b>	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社：ANA 料金：約 20 万	
② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社：                      料金： 復路 航空会社：                      料金：                                      ∴合計：	
<b>航空券購入方法</b>	
<input type="checkbox"/> 旅行代理店（店名：                      ）	
<input checked="" type="checkbox"/> インターネット（サイト名：航空会社の公式サイト）	
<input type="checkbox"/> その他（                      ）	

## 滞在形態関連

1) 種類 (留学中の滞在先) (例: アパート、大学の宿舎など)

 学生寮 (寮の名前: Global Scholars Hall)       アパート       ホームステイ

2) 部屋の形態

 個室       相部屋 (同居人数 2 人)

3) 共有部分

 バス       トイレ       キッチン ( 自炊可       自炊不可)

4) 住居を探した方法:

大学からの案内

5) 感想: (滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

GSH という大学の寮に滞在し、現地の学生 2 人と同じ部屋でした。寮に住んでいると、寮のイベントがあったり同じフロアの学生と友達になれたりなど交流の幅が広がります。一方で、1 人だけのプライベートな空間が欲しい、自炊で日本食を食べたいという方はアパートの方が向いているかもしれません。

## 現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをされましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院、学内の診療所)

 なし  
 あり (治療を受けた場所: )2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。  
(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等) なし  
 あり (問題の内容や相談した人等: )

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をされましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

何か事件や問題があった場合は、現地の大使館や大学からメールがきていました。私自身は犯罪に巻き込まれることはありませんでした。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

ソフトバンクのアメリカ放題というサービスを使用していたため、現地に到着してすぐに携帯を使用することができました。大学内には安定した Wi-Fi があり、問題なく使えていました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか? (例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

クレジットカードを使用していました。滞在期間が短かったため現地の口座は開設しませんでした。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

洋服は現地で買うこともできますが日本からも持っていく必要があると思いました。特に、外出用の服などはサイズが合わなかったり値段が高かったりするので 1 着だけでも持って行くと良いと思います。また、メイク用品やスキンケア用品なども自分に合ったものを持って行くと安心です。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

履修する授業が確定した後に、大学からの指示に従って銀行から送金しました。

### 学習・研究活動についてのレポート（履修した科目ごとに記入）

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
12 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由：4 年後期での留学だったため)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他 (    ) <input type="checkbox"/> 履修の制限があった：	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名（留学先大学言語）：	履修した授業科目名（日本語）：
LING144 Lrn How to Learn Lang	言語習得法
科目設置学部・研究科	Linguistics
履修期間	Fall term
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義・ディスカッション      （チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1 週間に 80 分が 2 回、50 分が 1 回
担当教授	Carla H. Consolini
授業内容	第二言語の習得法について学ぶ授業。第二言語を学んでいる学生が受講しており、第二言語を学ぶ過程や論理などについて学ぶ。
試験・課題など	毎週末 900~1500words のレポート課題、学期末のグループプレゼンテーション
感想を自由記入	第二言語で授業を受けている身としては参考になる情報が多くあったが、毎週末のレポート課題が大変だった。週 2 回の講義の他に週 1 でディスカッションの時間があり、その時間にグループワークやペアワークが多くあったのでスピーキングの練習になって良かった。毎回講義の時間には周りの学生と話し合う時間があったので、その時間に分からないところを質問していた。

履修した授業科目名（留学先大学言語）:	履修した授業科目名（日本語）:
LING150 Structur English Words	英単語の構成
科目設置学部・研究科	Linguistics
履修期間	Fall term
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に50分が3回
担当教授	DeAndré A. Espree-Conaway
授業内容	英単語の成り立ちや意味合い、発音などについて学ぶ授業。
試験・課題など	毎週のクイズ、隔週の小テスト、不定期のライティング課題、中間テスト、期末テスト
感想を自由記入	英単語の構成や発音、英語の歴史など英語に関する基本的な知識を学ぶことができ、英語を学ぶ手助けになった。課題が多かったが、勉強した分だけテストで点数が取れると感じた。なにより教授が非常に明るく、授業もなごやかな雰囲気楽しく受講した。

履修した授業科目名（留学先大学言語）:	履修した授業科目名（日本語）:
LING210 Language and Power	言語と権力
科目設置学部・研究科	Linguistics
履修期間	Fall term
単位数	4
本学での単位認定状況	単位認定（本学で認定された単位数を書いて下さい）
授業形態	講義・ディスカッション（チュートリアル、講義形式等）
授業時間数	1週間に80分が2回、50分が1回
担当教授	Dr. Rachel Elizabeth Wissler
授業内容	言語と社会の関係を学ぶ授業。メディアや政治との関係、方言やスラングなど、アメリカ社会に関連した内容を学ぶ。
試験・課題など	授業前のリーディング、授業後の小テスト、定期的なレポート、期末プロジェクト
感想を自由記入	アメリカ社会に深く関連したトピックを学ぶため、アメリカならではの授業だと感じて興味深かった。一方で、現地の学生よりもアメリカに関する知識が少ないため授業内容の理解が難しい点が多かった。毎週ディスカッションで授業内容をふまえた議論をするため、その時間までに授業内容を理解できるよう復習に力を入れた。難しかったが受講した授業の中で最も面白いと感じた。

## 卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください（下記2以降は記入不要）

就職    進学    未定    その他：

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

マイナビ、リクナビ、キャリアタス、ワンキャリア、オファーボックス、など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。（内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません）  
※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

インフラ業界

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。

（例：留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。）

※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

私は日本で就職活動を終えてから4年生の後期に留学に行きました。6月まで就職活動をしていたため、3年生の終盤から4年生の前期にかけては就職活動・留学準備・授業の両立が非常に大変でしたが、留学に行けるということが大きなモチベーションになっていました。留学に申し込んだときは「就職活動を終えてから留学」という事例をあまり聞いたことがなく不安でいっぱいでしたが、同じ状況下の友人やキャリアセンターの方などに相談しながら不安を解消していきました。留学先で日本人の学生にも出会いましたが、オンラインで選考を受けたり、ボスカリに行ったり、休学したりなど自分なりに様々なプランを決めて留学に来ていました。就職活動を理由に留学を断念する必要はないと思います。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス（準備、試験対策等）をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

## 留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

（例：語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等）

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	TOEFL 受験、出願、選考
留学開始年	1月～3月	留学許可をもらう
	4月～7月	必要書類提出、ビザ申請、航空券手配、予防接種、寮の申請
	8月～9月	保険・奨学金手続き、出国、オリエンテーション期間、授業開始
	10月～12月	中間試験、期末試験
留学/帰国年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	

## 留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

私がオレゴン大学を留学先を選んだ過程として、まず英語を使って学びたいという思いがあったため、昔から行きたかったアメリカの大学に絞りました。その中でも、オレゴンの自然豊かなところや治安の良さ、大学の授業内容や規模の大きさなどに魅力を感じ、最終的に西海岸のオレゴン大学に決定しました。オレゴン大学が位置するユージーンという地域は、アメリカの他のエリアに比べて治安がとても良く、街の人々も優しくて過ごしやすい地域です。オレゴン大学は留学生が多いため、世界中からきた学生と交流することができたほか、留学生だからといって目立つことなく思い切り過ごすことができました。また、スポーツが盛んな大学なので、定期的にフットボールやバスケットボールなどの観戦が楽しめる点も魅力的でした。

留学生活を振り返ると、最初の1 か月は授業や寮生活に慣れることに必死でしたが、仲の良い友達ができからは毎日がとても楽しく、留学生活終盤は1日1日が一瞬で過ぎていったような気がします。

留学して強く感じたことは、全ては自分次第ということです。留学先では貴重な経験がたくさんできますが、その機会をどれだけ自分のものにできるかは人それぞれだと思いました。初めのうちはイベントに参加しても自ら声をかけることに躊躇してしまっていたのですが、それでは留学している意味がないと気持ちを改め、徐々に授業や行事で積極的になることができました。自分の英語力も心配していましたが、文法や発音よりも話す内容の方がよっぽど重要だと実感しました。留学前には、自分が話せるトピックをいくつか持っておくと良いと思います。

また、留学前には特に勉強面を非常に心配していましたが、思い返すとそこまで心配しすぎる必要はなかったと思います。授業によるかもしれませんが、授業期間中は常に自分の成績の状況を見ることができますし、基本的なことをしっかりしていれば単位を落とすことはないと思います。理解できない部分があったときは、授業の中ではディスカッションの時間がたくさんあるので、そこで同じグループになった他の学生に質問して解決することも多かったです。人それぞれ留学の目的は異なりますが、個人的には机に向かう勉強だけではなく、他の学生との交流や現地ですかできない経験にも力をいれることができ良かったと思っています。

最後に、留学するにあたって、就職活動や他の活動との兼ね合いなど様々な不安があると思いますが、留学したいという思いがある限り、それらを理由に諦めてしまうのはもったいないと思います。実際に私もコロナウイルスの影響で留学が2年間延期になり、最終的に4年生後期での留学となりました。そのため、留学の出願直前まで就職活動を理由に諦めてしまおうかと悩んでいた部分もありましたが、帰国した現在では諦めず挑戦してよかったと心から思っています。不安があるときは家族や同じ立場の友人、大学のキャリアセンターなどに相談してみてください。みなさんが充実した留学生活を送れるよう応援しています。